

## 6月4日：VN指数はわずかに続伸

大型株が利益確定に押されることとなり、6月4日の株式市場はほぼ横ばいだったが、かろうじてわずかに上昇して取引を終えた。

ホーチミン取引所のVN指数は2.73ポイント(0.31%)高の883.9ポイントで取引を終えた。

209銘柄が上昇し145銘柄が下落した。

出来高と売買代金は20%ほど増加しそれぞれ4億3000万株と6.6兆ドンであった。相対取引で3670万株売買代金にして1.2兆ドンが取り引きされた。

午前中には大きく上昇していた銘柄も上昇を維持することが出来なかった。

主な上昇銘柄として、BIDV銀行(BID)とベティンバンク(CTG)は2%高、ビンコムリテール(VRE)とビナミルク(VNM)は1%高、SSI証券は3.3%高となった。

ベトコムバンク(VCB)は大きく上昇する場面があったが、最終的には1.3%高の89000ドンで取引を終えた。

コテコンズ建設(CTD)はストップ高の7%高となり72,000ドンで取引を終えた。

フーニュアンジュエリー(PNJ)、ペトロリックス(PLX)、ベトジェット航空(VJC)なども大きく上昇した。

一方、HD銀行(HDB)とVP銀行(VPB)の2行は下落して取引を終えた。ホアファットグループ(HPG)、ビングループ(VIC)、ビンホームズ(VHM)も下落した。

中小型株では、タンタオ投資(ITA)、ホアンクアン不動産(HQC)はストップ高となった。HAG、AAA、DBC、TDH、QOCなどもストップ高となった。

FLCファロス建設も上昇。FLCグループのROSとGABが合併することを受けてだった。ROSは7%高となり、出来高も4500万株となった。



ハノイ取引所では、SHB、SHB が上昇し HNX 指数の上昇に貢献した。SHB は 4.6% 高、SHS は 9.3% 高となった。HNX 指数は 0.94 ポイント (0.8%) 高の 117.42 ポイントで取引を終えた。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたします。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。